

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立毛野小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

令和3年度から令和5年度にかけ、「外国語」研究に取り組んだことにより、各担任は「目的・場面・状況」を意識した授業を展開するようになり、どの学年においても必然性のある言語活動を取り入れた学習を実施することができた。さらに、学年が上がるにつれ英語を使うことに対する抵抗が少なくなり、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。授業で積極的に発言する児童も多く、英語で発表をする際でも臆することなく発表できる児童も見られる。また、ALT・EAAとのやり取りも、積極的に行う様子が見られている。年に1度、5・6年生は英語チャレンジDAYを実施し、2校時から6校時まで英語による授業を行っている。児童はALT・EAAとの交流を楽しみにしており、意欲的に取り組む姿が見られる。

(4) 学校関係者による評価

- ・英会話学習についての意識は高まっている。
- ・英語を使って活動をすることが楽しいと感じている児童が多い。
- ・ALT や EAA との活動を楽しみにしている児童が多い。
- ・3カ年の研究を通じて、英会話活動の「型」や適切な「言語活動」の設定の仕方がわかり授業がやりやすくなったと感じている教師が多い。

3. 実施の効果及び課題

<実施の効果>

低学年から英語に触れる機会があることで、英会話学習が好きである児童が多い。また、本校は外国籍の児童が多く、異文化理解において、第1学年から英会話学習を実施することは大変有意義である。今後も第1学年からの英会話学習を継続していきたい。

<課題>

- ・第3学年、第4学年は、特別な教育課程「英会話学習」の他に外国語活動の授業があるので、足利市で作成された「英会話学習指導計画」の内容では、使いにくい部分がある。
- ・ALT・EAA との打合せに関して、以前より行えるようにはなってきたが、打合せの時間は昼休みや放課後になっており、担任は児童対応や児童会活動、出張などで出られず、担任全員とALT・EAA が集まって打合せをすることが難しい場合がある。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・足利市の「英会話学習指導計画」の内容が新しくなるまでは、自校で英会話学習の指導案を考え対応していく。
- ・なるべく打合せを優先していくが、どうしても担任全員が集まることができない場合は、できる担任だけで打合せを行い、あとで伝達する形で対応をする。